

【ご参考資料】

2012年6月13日
野村アセットマネジメント株式会社

ノムラ・グローバルトレンド(バスケット通貨選択型)
設定来1年間(2011年4月26日(設定日)～2012年4月26日)及び
2012年5月末現在の状況について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「ノムラ・グローバルトレンド(バスケット通貨選択型)」(以下、ファンド)の設定来1年間(2011年4月26日(設定日)～2012年4月26日)および2012年5月末現在の状況についてご説明申し上げます。

1. ファンドの基準価額の動きについて

▶2012年5月31日現在、円コース、資源国通貨コース、アジア通貨コースを合計した純資産総額は約697.7億円となっております。

▶設定来(2011年4月26日(設定日)～2012年5月31日)の基準価額(分配金再投資)の騰落率は、以下の通りです。

円コース (毎月分配型) : -10.40%、 (年2回決算型) : -10.39%

資源国通貨コース (毎月分配型) : -21.73%、 (年2回決算型) : -21.88%

アジア通貨コース (毎月分配型) : -17.87%、 (年2回決算型) : -18.02%

2012年5月31日現在		基準価額	純資産総額
円コース	毎月分配型	8,838円	55.5億円
	年2回決算型	8,952円	169.8億円
資源国通貨コース	毎月分配型	7,243円	232.4億円
	年2回決算型	7,812円	88.0億円
アジア通貨コース	毎月分配型	7,622円	102.1億円
	年2回決算型	8,198円	49.9億円

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

▶共通ポートフォリオがマイナスリターンとなったことが影響し、全コースの基準価額は下落しました。また、資源国通貨およびアジア通貨が円に対して下落したため、資源国通貨コースとアジア通貨コースの基準価額は円コースの基準価額に比べ下落幅が大きくなりました。

▶ 設定来1年間(2011年4月26日(設定日)～2012年4月26日)の基準価額(分配金再投資)の騰落率は、以下の通りです。

円コース	(毎月分配型) : -9.89%	(年2回決算型) : -9.89%
資源国通貨コース	(毎月分配型) : -14.79%	(年2回決算型) : -14.93%
アジア通貨コース	(毎月分配型) : -12.55%	(年2回決算型) : -12.68%

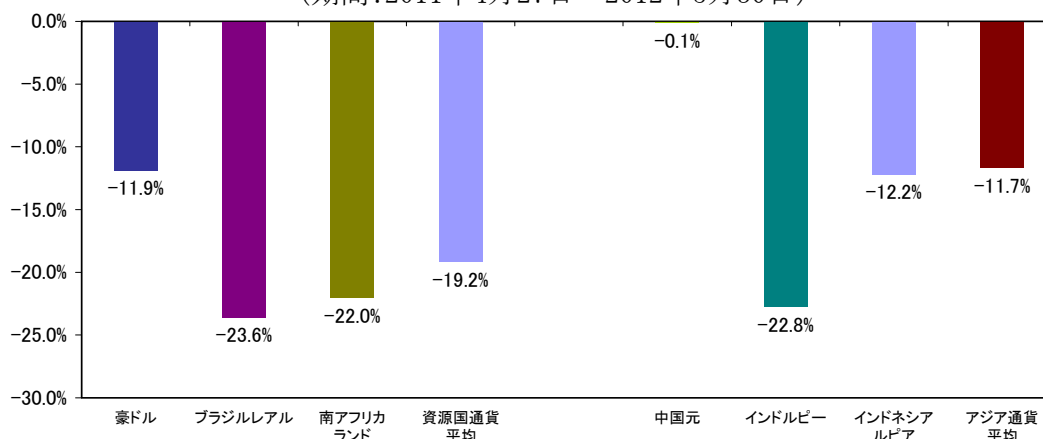
2. 為替の変動について

欧州債務危機問題に端を発する世界経済への先行き不透明感などから、設定来から昨年末にかけて投資家のリスク許容度は低い状態が続きました。今年にはいり、ECB(欧州中央銀行)による資金供給オペレーションやギリシャ向け第2次金融支援実施などを背景として一時的にリスク許容度が回復した局面もありましたが、その後は欧州債務不安が再燃したことなどから、投資家心理は再び悪化に転じました。

為替市場においては設定来からの期間を通じてみると、主要通貨に対して円高の進展がみられ、資源国通貨およびアジア通貨についても、円に対して下落しました。

(ご参考) 為替(対円レート)市場の騰落率について

(期間: 2011年4月27日～2012年5月30日)



資源国通貨平均は豪ドル、ブラジルレアル、南アフリカランドの騰落率の平均値です。アジア通貨平均は中国元、インドルピー、インドネシアルピアの騰落率の平均値です。各為替は、ノムラ・バンク(ルクセンブルグ)エス・エー提供のデータを使用。上記は過去のデータであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

3. ファンドの実質的な投資先の状況について

各コースは、円建ての外国投資信託であるマネージド・フューチャーズ・ディバーシファイド・ファンドの対応する各通貨クラスに主に投資します。

各通貨クラスで行なわれる為替ヘッジの影響を除いた外国投資信託の収益の大部分は、マン・インベストメンツ・リミテッドが運用を担当するAHLプログラムに依存しており、当該部分の設定来1年間における運用の詳細は次ページ以降にてご説明いたします。

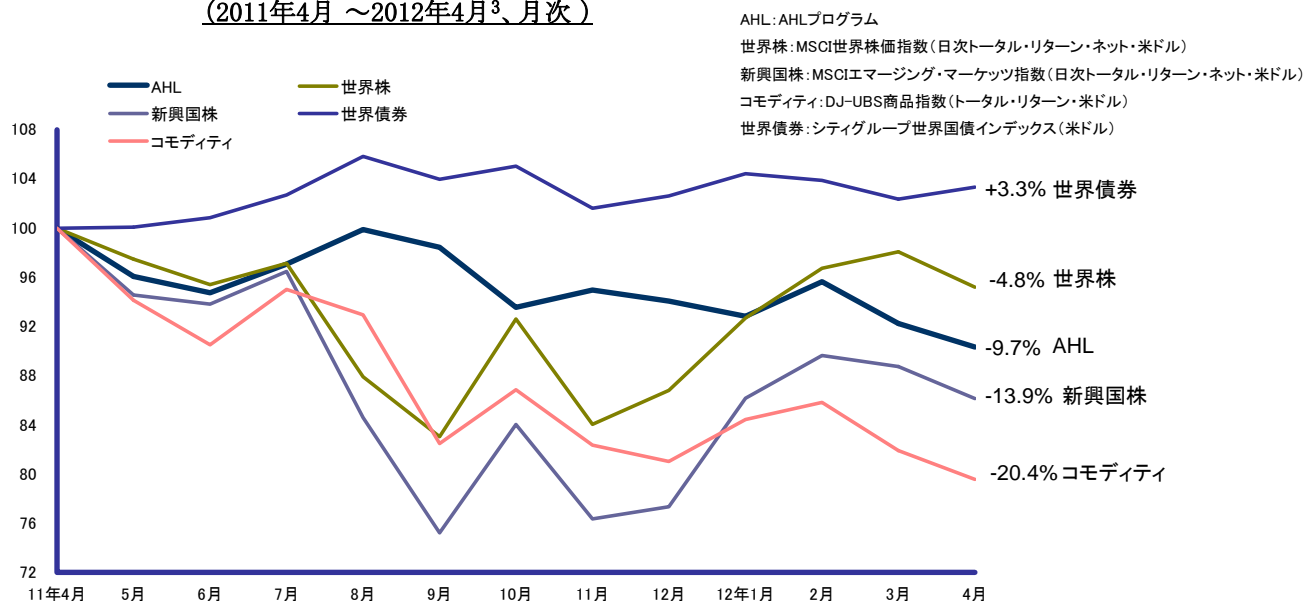
「ノムラ・グローバルトレンド(バスケット通貨選択型)」(2011年4月26日(設定日)～2012年4月26日)におけるAHLプログラムの動きと背景についてご説明申し上げます。

設定来の市場環境は、欧州の債務問題を巡る報道や観測に大きく翻弄され、投資家心理が不安定となり、その結果、短期間に市場のトレンドが頻繁に反転しました。AHLプログラムにとり難しい運用環境となりました。

1. AHLプログラムのパフォーマンスについて

- 2011年4月27日(外国投資信託運用開始)～2012年4月24日の期間、AHLプログラムは-9.7%¹。
- 一方、同期間における世界株は-4.8%、新興国株は-13.9%となりました。
- AHLプログラムは、株式やコモディティ、通貨市場で大きなトレンドの反転が観測された2011年5、6月及び10月は苦戦する展開となりました。一方、債券高、株安のトレンドが観測された7、8月は良好なパフォーマンスでした。また、2012年に入ってから株安や原油などのエネルギー市場が上昇基調となった2月を除き難しい運用環境となりました。

AHLプログラムのパフォーマンス¹
(2011年4月～2012年4月³、月次)



AHLプログラムは運用開始時、各指数は2011年4月26日を、100として指数化。

AHLプログラムの月次パフォーマンス¹

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
2011年	-	-	-	-	-3.9% ²	-1.4%	2.5%	2.9%	-1.4%	-4.9%	1.5%	-0.9%	-5.9%
2012年	-1.3%	3.0%	-3.5%	-2.1% ³									-4.0%

AHLプログラムおよび各指数の各月のパフォーマンスは、ノムラ・グローバルトレンド(バスケット通貨選択型)の各暦月の騰落率に反映されている期間の騰落率。

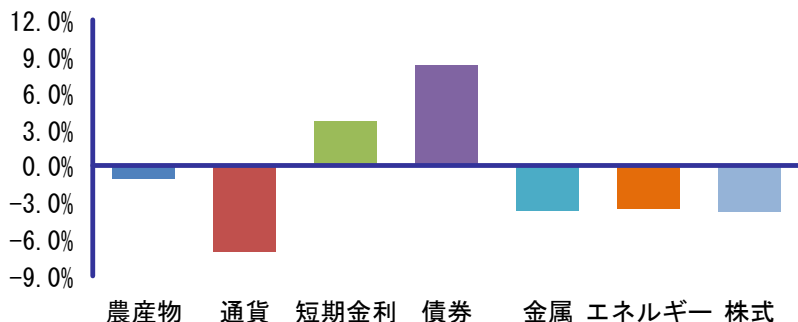
出所: マン・インベストメンツ。 ¹ノムラ・グローバルトレンド(バスケット通貨選択型)が組み入れている外国投資信託におけるAHLプログラムのパフォーマンス(米ドル建て)。 ²4月27日～ ³4月24日

上記は過去のデータであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的としてマン・インベストメンツ・リミテッドの情報に基づき野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、先物取引等を実質的な取引対象とします(また、外貨建資産に投資する場合、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

2. セクター別の運用概況(2011年4月27日～2012年4月24日)

セクター別寄与度¹



- セクター別では、欧州の債務問題を巡る政策当局の対応に市場が大きく反応し、投資家心理も楽観から悲観へと頻りに揺れ動く不安定な展開となったことから、多くの市場でトレンドの反転が観測され、**通貨**や**金属**、**エネルギー**、**株式**セクターが主にパフォーマンスにマイナスに影響しました。
- 一方、一時的に債券市場が下落(金利は上昇)する局面もあったものの、欧州債務問題が長期化する中、安全資産を選好する動きが強まったことから、運用期間を通じて、債券・短期金利市場は上昇基調となり、**債券**及び**短期金利**セクターはパフォーマンスにプラス寄与しました。

セクター	損益	主な プラス寄与銘柄	主な マイナス寄与銘柄	コメント
通貨	マイナス	<ul style="list-style-type: none"> 円買い/米ドル売り ユーロ売り/スイス・フラン買い 	<ul style="list-style-type: none"> 南アフリカランド買い/米ドル売り カナダドル買い/米ドル売り 	<ul style="list-style-type: none"> リスク回避的な市場環境下、急激な米ドル高が進行した局面において米ドル売りポジションがマイナス要因となり、損失は主に2011年5月や8月に集中しました。 当運用期間を通じて、米ドルに対する南アフリカランドの買いポジションが最もマイナスに寄与しました。一方、米ドルに対する円の買いポジションなどはプラス要因となりました。
金属	マイナス	<ul style="list-style-type: none"> 金:買い 	<ul style="list-style-type: none"> 銅:買い 銀:買い 	<ul style="list-style-type: none"> 投資家心理の変化や、取引所の規制変更等を受け、各市場で頻りにトレンドが反転する展開となる中、コモディティ市場が全般的に下落した2011年5月や、貴金属市場が大幅下落した9月、米ドル安や需給要因を背景に各市場が反発上昇した2012年1月に損失は集中しました。 当運用期間を通じては、銅の買いポジションが最もマイナスに寄与しました。一方、金の買いポジションはプラス要因となりました。

出所:マン・インベストメンツ、Bloomberg。 ¹ ノムラ・グローバルトレンド(バスケット通貨選択型)が組み入れている外国投資信託におけるAHLプログラムの運用実績(米ドル建て)に基づく。取引対象である先物取引等の騰落率に対するセクター別の寄与度。

上記は過去のデータであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また、**ファンドの運用実績**ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的としてマン・インベストメンツ・リミテッドの情報に基づき野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、先物取引等を実質的な取引対象とします(また、外貨建資産に投資する場合、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

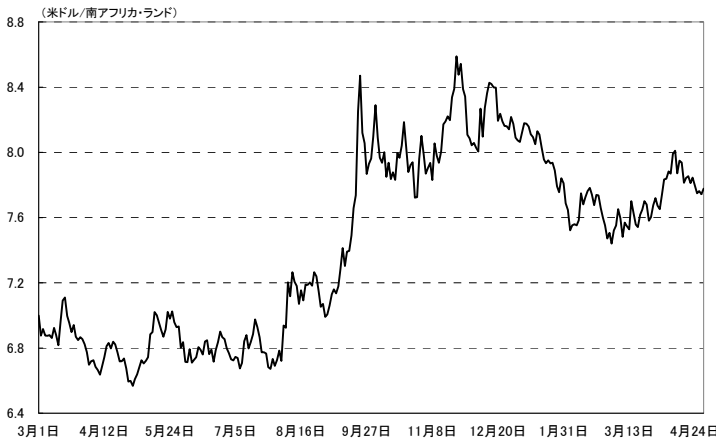
	損益	主なプラス寄与銘柄	主なマイナス寄与銘柄	コメント
株式	マイナス	・ブラジルボヘスパ指数: 売り ・キリシアテネ総合指数: 売り	・独DAX指数: 売り ・韓国KOSPI指数: 買い	<p>・欧州債務問題を巡る政策当局の対応に市場が大きく影響され、各市場ではトレンドの反転が観測された中、市場が反落した2011年5、6月や、市場が急反発した10月、欧州債務問題の再燃により市場が反落した2012年4月に損失は集中しました。</p> <p>・当運用期間を通じて、独DAXの売りポジションが最もマイナスに寄与しました。一方、ブラジルボヘスパ指数の売りポジション等はプラス要因でした。</p>
エネルギー	マイナス		・原油: 買い ・天然ガス: 買い	<p>・取引所の規制変更等を背景にコモディティ市場全般が急反落した当運用期間の前半(2011年5-7月)に損失は集中しました。</p> <p>・当運用期間を通じては、原油の買いポジションが最もマイナスに寄与しました。</p>
農産物	マイナス	・砂糖: 買い ・ココア: 売り	・トウモロコシ: 買い ・コーヒー: 買い	<p>・各市場の動きはまちまちの展開となる中、コモディティ市場全般が急反落した2011年5月や8月の損失が目立つ一方、市場が一般的に下落した11月はプラスの結果となりました。</p> <p>・当運用期間を通じて、トウモロコシの買いポジションが最もマイナスに寄与しました。一方、砂糖の買いポジション等はプラス要因でした。</p>
短期金利	プラス	・ユーロダラー金利: 買い ・ユーロポニー金利: 買い		<p>・当運用期間を通じて、金利が低下基調となる中、米国債の格下げ等を受けてリスク回避姿勢が急激に強まった2011年7-8月に特に大幅な利益を確保しました。</p> <p>・当運用期間を通じて、ユーロダラー金利の買いポジションが最もプラス寄与しました。一方、ユーロ円金利のポジション等は横ばいの結果でした。</p>
債券	プラス	・米国債: 買い ・ドイツ中・長期国債: 買い	・ドイツ短期国債: 売り ・韓国国債: 売り	<p>・当運用期間を通じて、金利が低下基調となる中、米国債の格下げ等を受けてリスク回避姿勢が急激に強まった、2011年7-8月に特に大幅な利益を確保しました。</p> <p>・当運用期間を通じて、米国債の買いポジションが最もプラス寄与しました。一方、ドイツ短期国債の売りポジション等はマイナス要因でした。</p>

出所: マン・インベストメンツ、Bloomberg。ノムラ・グローバルトレンド(バスケット通貨選択型)が組み入れている外国投資信託におけるAHLプログラム(米ドル建て)に基づく。取引対象である先物取引等の月間騰落率に対するセクター別の寄与度。

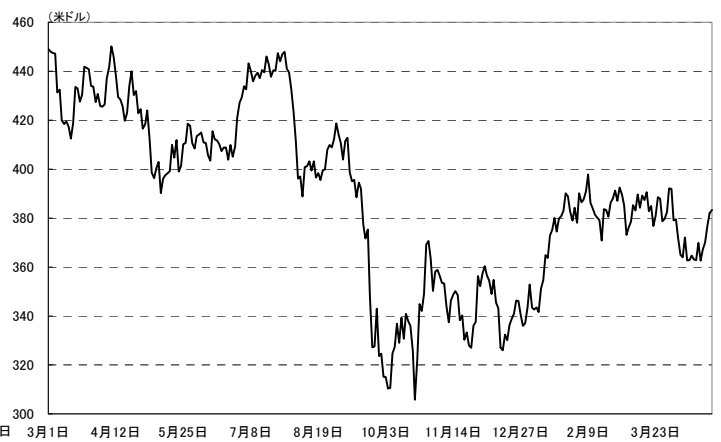
上記は過去のデータであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的としてマン・インベストメンツ・リミテッドの情報に基づき野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、先物取引等を実質的な取引対象とします(また、外貨建資産に投資する場合、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

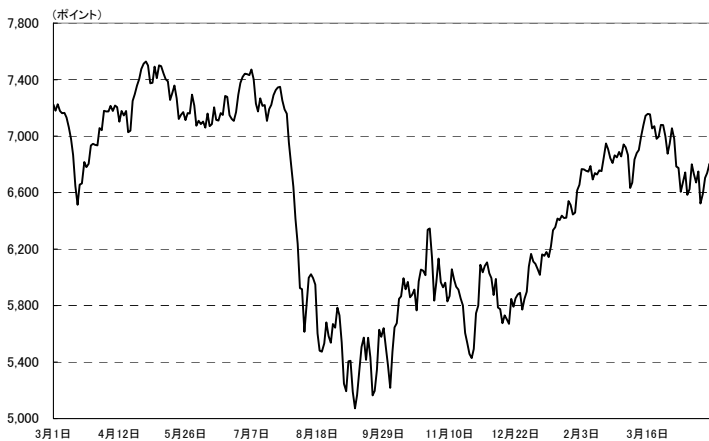
米ドル/南アフリカ・ランド* (2011年3月1日～2012年4月30日)



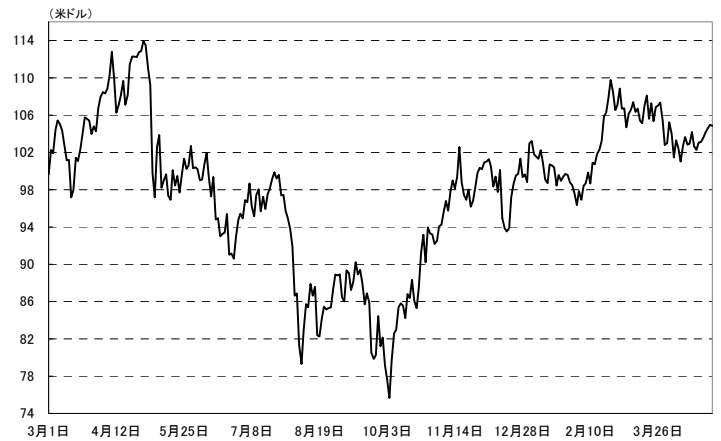
銅先物 (2011年3月1日～2012年4月30日)



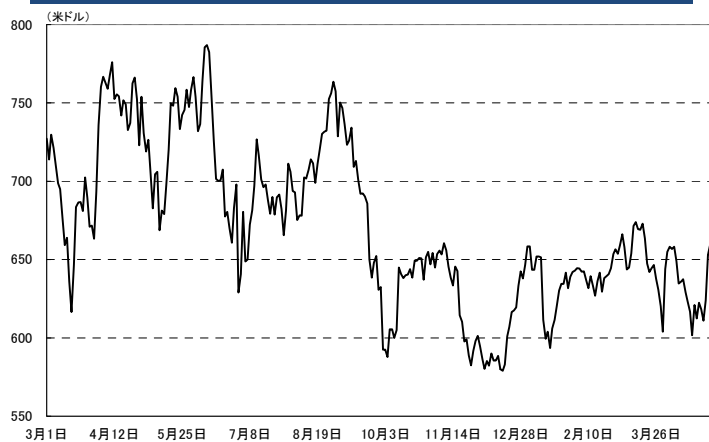
独DAX指数 (2011年3月1日～2012年4月30日)



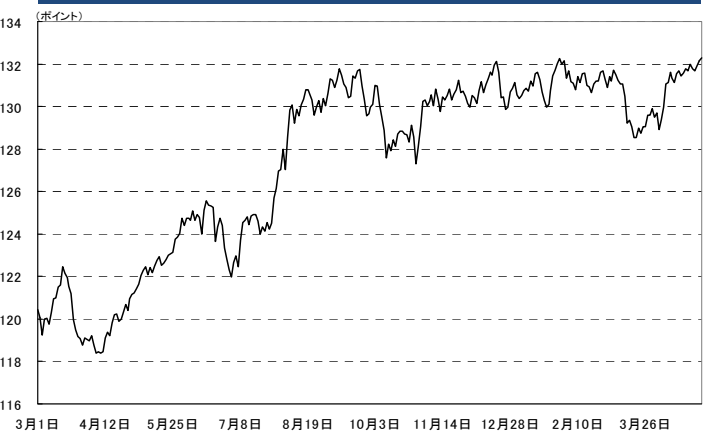
WTI原油先物 (2011年3月1日～2012年4月30日)



トウモロコシ先物 (2011年3月1日～2012年4月30日)



米10年国債先物 (2011年3月1日～2012年4月30日)



出所: マン・インベストメンツ、Bloomberg。

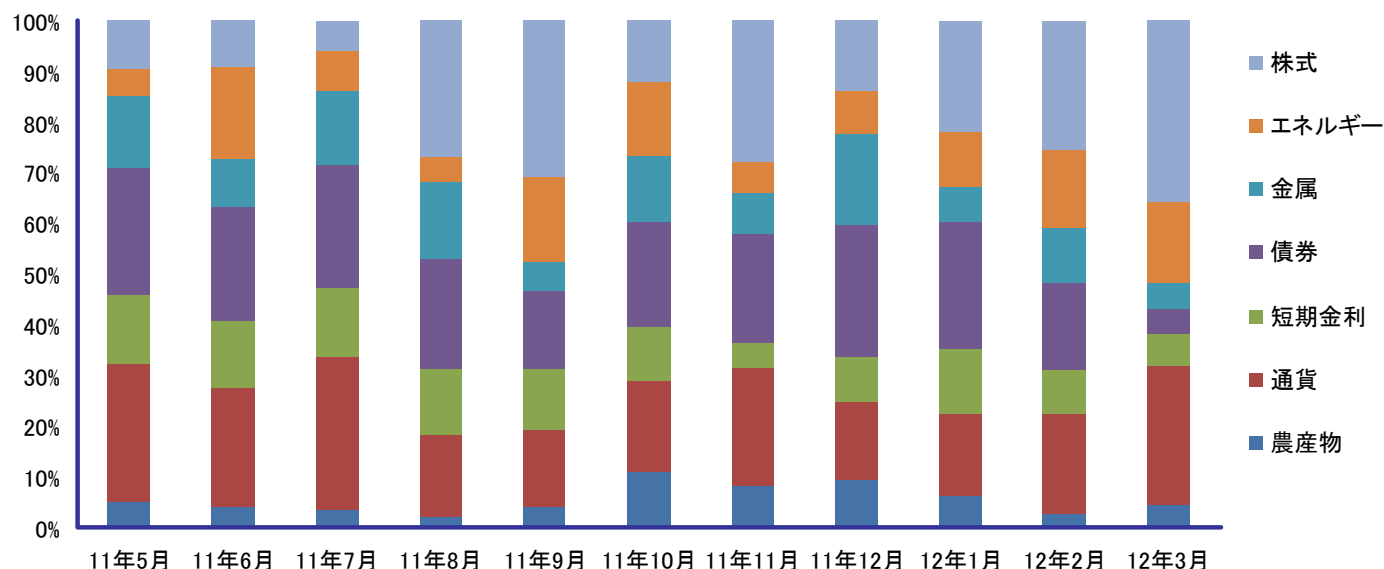
上記の各市場は、AHLプログラムが実際に取引している市場とは異なることがあります。

上記は過去のデータであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

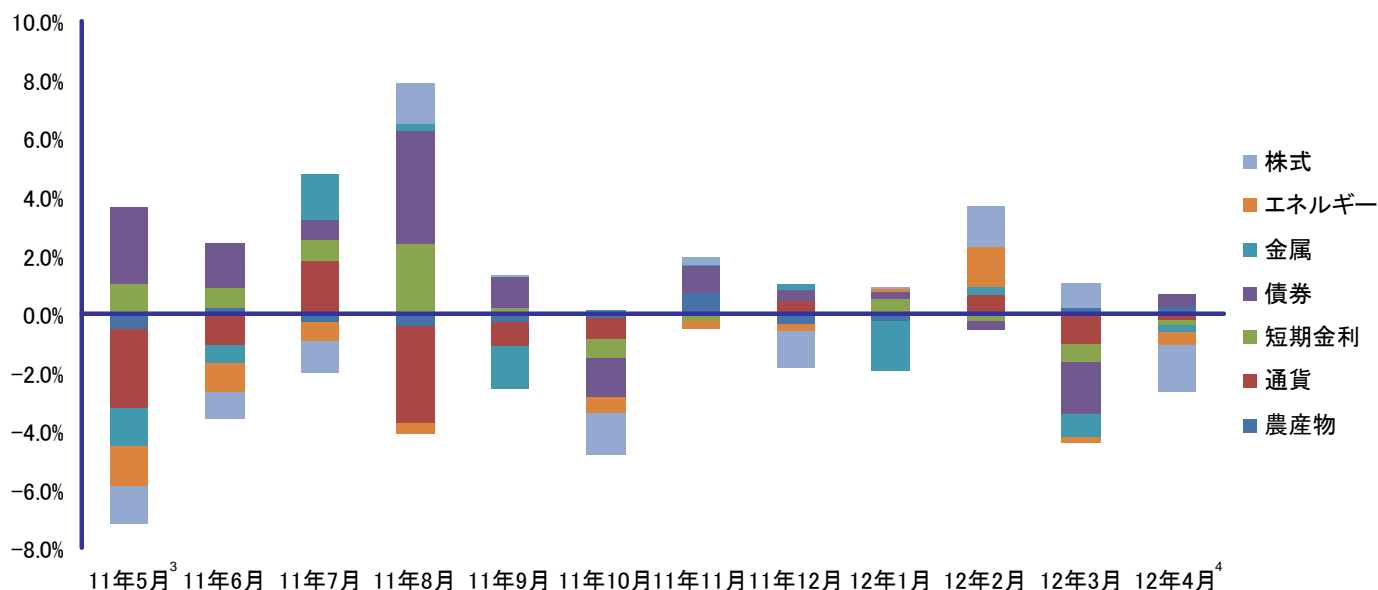
当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的としてマン・インベストメンツ・リミテッドの情報に基づき野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、先物取引等を実質的な取引対象とします(また、外貨建資産に投資する場合、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

3. セクター別リスク配分、セクター別寄与度の推移

セクター別リスク配分¹の推移(2011年5月～2012年3月、月末値)



セクター別寄与度²の推移(2011年5月～2012年4月)



出所:マン・インベストメンツ。 ¹取引対象である先物取引等のセクター別リスク配分であり、セクター毎のバリュー・アット・リスク*をもとに計算されています。 ※統計的手法を使って、市場リスクの予想最大損失額を算出する指標。 ²ノムラ・グローバルトレンド(バスケット通貨選択型)が組み入れている外国投資信託におけるAHLプログラムの運用実績(米ドル建て)に基づく。取引対象である先物取引等の月間騰落率に対するセクター別の寄与度。各月の期間は、ノムラ・グローバルトレンド(バスケット通貨選択型)の各暦月の騰落率に反映されている、AHLプログラムの運用期間。 ³4月27日～ ⁴4月24日

上記は過去のデータであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的としてマン・インベストメンツ・リミテッドの情報に基づき野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、先物取引等を実質的な取引対象とします(また、外貨建資産に投資する場合、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

4. 市場のテーマとAHLプログラムの主なポジション

	11年5月		6月		7月	
市場のテーマ	<ul style="list-style-type: none"> 先物取引の証拠金引上げ等から商品市況が急反落 リスク回避の動きから株式も反落 4月までのテーマであった資源国通貨高・米ドル安トレンドが急反転 質への逃避相場となり債券は上昇 		<ul style="list-style-type: none"> ギリシャ問題に端を発した欧州の債務問題を受け、コモディティ及び株式の下落が継続 世界経済の先行き不透明感を背景に、安全資産を選好する動きが強まり、米ドル高が進行 		<ul style="list-style-type: none"> 特に後半以降、欧州の債務問題や、米国の債務上限問題の影響により、リスク回避的な市場環境となり、債券や円、スイスフラン、金等が上昇 	
主なポジション	株式	買×	米ドル	売×	円	買○
	原油	買×	天然ガス	買×	金	買○
	金	買×	S&P500	買×	ドイツ国債	買○
	米ドル	売×	金	買×	S&P500	買×
	資源国通貨	買×	豪国債	買○	天然ガス	売×
	米国債	買○				

*「○」はAHLプログラムのパフォーマンスに対するプラス寄与を、「×」はパフォーマンスに対するマイナスの影響を示しています。

	8月		9月		10月	
市場のテーマ	<ul style="list-style-type: none"> 8/5の米国債の格下げから、質への逃避相場が加速し、債券が大幅上昇 しかし、米国の経済指標の改善を受けて月末にかけて株式は反発上昇 		<ul style="list-style-type: none"> 世界経済の先行き見通しの悪化等を受け、債券は上昇基調となる一方、株式は下落基調 一方、投資家の資金引き上げや取引所による規制強化等を背景に、安全資産として選好されてきた金や銀は下落 		<ul style="list-style-type: none"> 欧州債務問題の進展期待や欧州金融機関の資本増強等の楽観論から、質への逃避の動きが大きく後退し、債券は反落 一方、株式は急騰 	
主なポジション	米国債	買○	金	買×	日経平均	売×
	ユーロダラー金利	買○	豪ドル	買×	米国債	買×
	中国H株指数	売○	トウモロコシ	買×	米ドル	買×
	南アフリカランド	買×	ドイツ国債	買○	原油	売×
	金	買○	中国H株指数	売○	金	買○

*「○」はAHLプログラムのパフォーマンスに対するプラス寄与を、「×」はパフォーマンスに対するマイナスの影響を示しています。

出所：マン・インベストメンツ、Bloomberg。ノムラ・グローバルトレンド(バスケット通貨選択型)が組み入れている外国投資信託におけるAHLプログラムの運用実績(米ドル建て)に基づく。

上記は過去のデータであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的としてマン・インベストメンツ・リミテッドの情報に基づき野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、先物取引等を実質的な取引対象とします(また、外貨建資産に投資する場合、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

	11月	12月	12年1月																																		
市場のテーマ	<ul style="list-style-type: none"> ギリシャの債務不履行懸念、イタリアの首相交代や、南欧諸国における金利上昇等を背景に、再びリスク回避的な展開となり、米国債券は上昇、株式は下落 	<ul style="list-style-type: none"> 欧州サミットは振るわず、主要国の格下げが懸念されたものの、6ヶ国中央銀行による流動性供給や、ドイツの堅調な経済指標、良好な結果となったスペインの国債入札等を受けて、株式は上昇 	<ul style="list-style-type: none"> 一部の欧州諸国の国債が格下げされたものの、堅調な米経済指標等を背景に、米国株は上昇 米ドル安を背景に貴金属が上昇、その他の産業用金属も上昇 農産物では綿花や小麦が需給見通しの改善から反発上昇 																																		
主なポジション	<table border="1"> <tr><td>米国債</td><td>買○</td></tr> <tr><td>小麦</td><td>売○</td></tr> <tr><td>日経平均</td><td>売○</td></tr> <tr><td>アルミニウム</td><td>売○</td></tr> <tr><td>暖房油</td><td>買×</td></tr> </table>	米国債	買○	小麦	売○	日経平均	売○	アルミニウム	売○	暖房油	買×	<table border="1"> <tr><td>日経平均</td><td>売×</td></tr> <tr><td>独DAX指数</td><td>売×</td></tr> <tr><td>小麦</td><td>売×</td></tr> <tr><td>原油</td><td>売×</td></tr> <tr><td>ユーロ</td><td>売○</td></tr> <tr><td>ドイツ国債</td><td>買○</td></tr> </table>	日経平均	売×	独DAX指数	売×	小麦	売×	原油	売×	ユーロ	売○	ドイツ国債	買○	<table border="1"> <tr><td>アルミニウム</td><td>売×</td></tr> <tr><td>プラチナ</td><td>売×</td></tr> <tr><td>ココア</td><td>売×</td></tr> <tr><td>ユーロダラー金利</td><td>買○</td></tr> <tr><td>米国債</td><td>買○</td></tr> <tr><td>改質ガソリン</td><td>買○</td></tr> </table>	アルミニウム	売×	プラチナ	売×	ココア	売×	ユーロダラー金利	買○	米国債	買○	改質ガソリン	買○
米国債	買○																																				
小麦	売○																																				
日経平均	売○																																				
アルミニウム	売○																																				
暖房油	買×																																				
日経平均	売×																																				
独DAX指数	売×																																				
小麦	売×																																				
原油	売×																																				
ユーロ	売○																																				
ドイツ国債	買○																																				
アルミニウム	売×																																				
プラチナ	売×																																				
ココア	売×																																				
ユーロダラー金利	買○																																				
米国債	買○																																				
改質ガソリン	買○																																				

*「○」はAHLプログラムのパフォーマンスに対するプラス寄与を、「×」はパフォーマンスに対するマイナスの影響を示しています。

	2月	3月	4月																																
市場のテーマ	<ul style="list-style-type: none"> 米国経済の先行きに対する過度の悲観論が後退したことや、中国の金融緩和などを背景に、市場では楽観的な見方が広がり、株式は上昇 イランを巡る地政学リスクの高まりを受けて、原油が急騰 コモディティも全般的に上昇し、資源国通貨も上昇 	<ul style="list-style-type: none"> FOMC(米連邦公開市場委員会)における景気判断引き上げ等を受けて、リスク選好度が高まり、株式は上昇基調 債券や貴金属等の安全資産は下落 コモディティは全般的に軟調な展開となり、資源国通貨も下落 	<ul style="list-style-type: none"> スペインやイタリアを中心とした欧州債務問題の再燃、米国及び中国の景気見直しに対する懸念等を背景に、投資家のリスク許容度が低下し、株式やコモディティが下落 一方、債券は上昇 																																
主なポジション	<table border="1"> <tr><td>米ナスダック100</td><td>買○</td></tr> <tr><td>原油</td><td>買○</td></tr> <tr><td>豪ドル</td><td>買○</td></tr> <tr><td>金</td><td>買○</td></tr> <tr><td>米国債</td><td>買×</td></tr> </table>	米ナスダック100	買○	原油	買○	豪ドル	買○	金	買○	米国債	買×	<table border="1"> <tr><td>米国債</td><td>買×</td></tr> <tr><td>豪ドル</td><td>買×</td></tr> <tr><td>金</td><td>買×</td></tr> <tr><td>原油</td><td>買×</td></tr> <tr><td>米S&P500</td><td>買○</td></tr> <tr><td>コーヒー</td><td>売○</td></tr> </table>	米国債	買×	豪ドル	買×	金	買×	原油	買×	米S&P500	買○	コーヒー	売○	<table border="1"> <tr><td>日経平均</td><td>買×</td></tr> <tr><td>原油</td><td>買×</td></tr> <tr><td>銅</td><td>買×</td></tr> <tr><td>大豆</td><td>買○</td></tr> <tr><td>ドイツ国債</td><td>買○</td></tr> </table>	日経平均	買×	原油	買×	銅	買×	大豆	買○	ドイツ国債	買○
米ナスダック100	買○																																		
原油	買○																																		
豪ドル	買○																																		
金	買○																																		
米国債	買×																																		
米国債	買×																																		
豪ドル	買×																																		
金	買×																																		
原油	買×																																		
米S&P500	買○																																		
コーヒー	売○																																		
日経平均	買×																																		
原油	買×																																		
銅	買×																																		
大豆	買○																																		
ドイツ国債	買○																																		

*「○」はAHLプログラムのパフォーマンスに対するプラス寄与を、「×」はパフォーマンスに対するマイナスの影響を示しています。

出所：マン・インベストメンツ、Bloomberg。ノムラ・グローバルトレンド(バスケット通貨選択型)が組み入れている外国投資信託におけるAHLプログラムの運用実績(米ドル建て)に基づく。

上記は過去のデータであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的としてマン・インベストメンツ・リミテッドの情報に基づき野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、先物取引等を実質的な取引対象とします(また、外貨建資産に投資する場合、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡す投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

5. 直近のAHLプログラムの状況(2012年5月29日現在)

- 2012年4月25日～5月29日の期間、AHLプログラムは-0.5%¹

セクター別寄与度²



2012年4月25日～5月29日

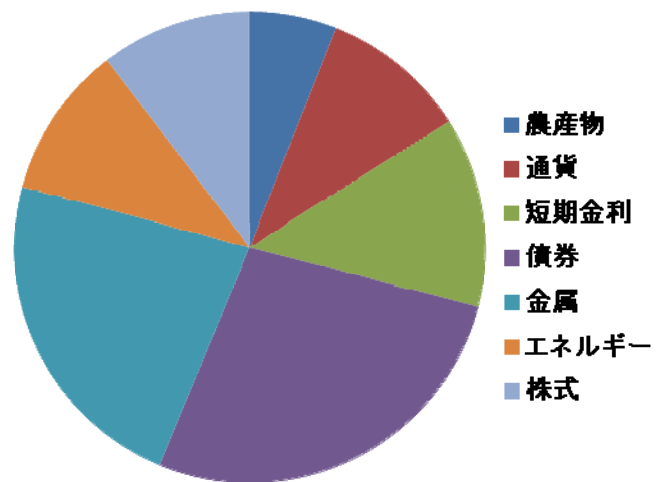
市場のテーマ	内容
市場のテーマ	・仏大統領選挙やギリシャ総選挙の結果から欧州政治及びユーロへの懸念が高まり、また、米国や新興国の景気見通しに対する先行き不透明感が強まったことから、世界的にコモディティや株式市場が反落する一方、相対的に安全な資産と見なされた債券や米ドルが上昇
主なポジション	銘柄
	S&P500 買×
	米ドル 売×
	原油 買×
	米国債 買○

*「○」はAHLプログラムのパフォーマンスに対するプラス寄与を、「×」はパフォーマンスに対するマイナスの影響を示しています。

現在のポジション

セクター	銘柄	ポジション
債券	米国債	買い
	独長期国債	買い
短期金利	ユーロダラー金利	買い
株式	米S&P500	買い
	日経225	買い
通貨	円/米ドル	円売り/米ドル買い
	円/ユーロ	円買い/ユーロ売り
	ブラジルレアル/米ドル	レアル売り/米ドル買い
エネルギー	WTI原油	売り
	天然ガス	売り
金属	金	売り
	銀	売り
	銅	売り
農産物	トウモロコシ	売り
	小麦	売り

セクター別リスク配分³



出所:マン・インベストメンツ。 ¹ノムラ・グローバルトレンド(バスケット通貨選択型)が組み入れている外国投資信託におけるAHLプログラムのパフォーマンス(米ドル建て)に基づく。²取引対象である先物取引等の騰落率に対するセクター別の寄与度。³取引対象である先物取引等のセクター別リスク配分であり、セクター毎のバリュー・アット・リスク*をもとに計算されています。
※統計的手法を使って、市場リスクの予想最大損失額を算出する指標。

上記は過去のデータであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的としてマン・インベストメンツ・リミテッドの情報に基づき野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、先物取引等を実質的な取引対象とします(また、外貨建資産に投資する場合、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

6. 1年間の総括

市場ではトレンドが出ているようにも見えましたが、なぜマイナスの結果となったのか

- 欧州の債務問題を巡る報道や観測に市場が大きく翻弄され、投資家心理が不安定となった結果、短期間に市場のトレンドが頻繁に反転しました。
- 特に、株式や通貨セクターの市場では、投資家心理が所謂”リスク・オン”、”リスク・オフ”の間で頻繁に入れ替わった結果、短期的に市場のトレンドが出現しては反転し、AHLプログラムにとって厳しい運用環境となりました。
- また、コモディティ関連(エネルギー、金属、農産物)セクターも、上記の要因に加え、世界経済の先行き不透明感から需給観測が大きく変動した結果、AHLプログラムにとって厳しい運用環境となりました。
- 一方、債券や短期金利セクターでは、市場の先行き不透明感から、安全資産を選好する動きが強まる中、市場では中長期の比較的安定したトレンドが観測され、AHLプログラムは収益を確保しましたが、他のセクターで被った損失を相殺するには至りませんでした。

今後のAHLプログラムの運用方針

- トrend捕捉期間の調節や、電子トレーディングの積極的導入による取引コストの低減、トレンド・フォロー戦略を補完する戦略の追加、既存ポートフォリオに対して相関が低い新規市場の追加等、運用モデルの研究・開発・改良を通じて、今後も一貫したシステム運用を継続していく所存です。
- また、外部から、数学の博士号を保有し、投資銀行やヘッジファンド等での豊富な経験を有する、リスク管理の専門家を採用するなど、運用体制を強化しています。

引き続きご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

以上

<当資料で使用した指数について>

- MSCI世界株価指数、MSCI エマージング・マーケット指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- シティグループ世界国債インデックスは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクの知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など指数に関するすべての権利は、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが有しています。
- DJ-UBS商品指数は、UBS AGが管理・公表しています。DJ-UBS商品指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はUBS AGに帰属しております。

【ファンドの特色】

- 「ノムラ・グローバルトレンド(バスケット通貨選択型)」は、投資する外国投資信託において為替ヘッジ手法の異なる3つのコース(円コース、資源国通貨コース、アジア通貨コース(各コースには「毎月分配型」、「年2回決算型」があります。))から構成されています。
- 信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 世界各国の債券先物取引、株価指数先物取引、金利先物取引、商品先物取引および為替予約取引等を主要取引対象とする、円建ての外国投資信託「マネージド・フューチャーズ・ディバースファイド・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を主要投資対象とします。

■ 外国投資信託「マネージド・フューチャーズ・ディバースファイド・ファンド」の主な投資方針について■

- ◆ 世界各国の債券先物取引、株価指数先物取引、金利先物取引、商品先物取引、および為替予約取引等を積極的に活用し、主として市場動向の方向性にそって多数の先物等についてロング・ポジション、あるいはショート・ポジションを構築することにより、中期的に米ドルベースでの絶対収益の獲得を目指して運用を行なうことを基本とします。
- ◆ 各投資対象市場における日々の価格データ等を勘案した多数の独自の定量モデルを活用することにより、市場の上昇トレンドならびに下降トレンドの双方を捉え、追従することを目指します。

- ・ 各コースは、外国投資信託において、共通ポートフォリオを通じて債券先物取引、株価指数先物取引、金利先物取引、商品先物取引および為替予約取引等の運用を行ないます。

円コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	共通ポートフォリオの通貨配分にかかわらず、原則として純資産総額とほぼ同額程度、米ドル売り円買いの為替取引を行なう外国投資信託に投資を行ないます。
資源国通貨コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	共通ポートフォリオの通貨配分にかかわらず、原則として純資産総額とほぼ同額程度、米ドル売り資源国通貨(ブラジル、オーストラリア、南アフリカの3カ国の通貨のバスケット) 買いの為替取引 ^{※1} を行なう外国投資信託に投資を行ないます。
アジア通貨コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	共通ポートフォリオの通貨配分にかかわらず、原則として純資産総額とほぼ同額程度、米ドル売りアジア通貨(中国、インド、インドネシアの3カ国の通貨のバスケット) 買いの為替取引 ^{※2} を行なう外国投資信託に投資を行ないます。

※1 米ドル売りブラジルレアル買いの為替取引、米ドル売り豪ドル買いの為替取引、米ドル売り南アフリカランド買いの為替取引を、純資産総額の3分の1程度ずつ行ないます。

※2 米ドル売り中国元買いの為替取引、米ドル売りインドルピー買いの為替取引、米ドル売りインドネシアルピア買いの為替取引を、純資産総額の3分の1程度ずつ行ないます。

◆ 通常の状況においては、「マネージド・フューチャーズ・ディバースファイド・ファンド」への投資を中心とします[※]が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。

※通常の状況においては、「マネージド・フューチャーズ・ディバースファイド・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

- 各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- 「ノムラ・グローバルトレンド(バスケット通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。

● 分配の方針

◆ 毎月分配型

原則、毎月23日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。なお、毎年3月および9月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

◆ 年2回決算型

原則、毎年3月および9月の23日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的としてマン・インベストメント・リミテッドの情報に基づき野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、先物取引等を実質的な取引対象とします(また、外貨建資産に投資する場合、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【投資リスク】

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて様々な先物取引等を実質的な取引対象としますので、株価変動、金利変動、商品価格の変動等の影響により基準価額が下落することがあります。また、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じる可能性があります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、取引先リスクなどがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成28年3月23日まで(平成23年4月26日設定)
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月23日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
【年2回決算型】年2回の決算時(原則3月および9月の23日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌々営業日の基準価額
- ご購入単位 一般コース:300万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)
自動けいぞく投資コース:300万円以上1円単位
※お取扱コース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、下記に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。

円コース 資源国通貨コース	○申込日当日または翌営業日以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合 ・ニューヨークの銀行・ニューヨーク証券取引所 ・ロンドンの銀行・ルクセンブルグの銀行
アジア通貨コース	○申込日当日または翌営業日以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合 ・ニューヨークの銀行・ニューヨーク証券取引所 ・ロンドンの銀行・ルクセンブルグの銀行 ・ジャカルタの銀行 ○申込日当日または翌営業日が、中国またはインドの連休等で、購入、換金の申込みの受け付けを行わないものとして委託会社が指定する日の場合

- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。

【当ファンドに係る費用】

(2012年6月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に4.2%(税抜4.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 ※詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年0.9975%(税抜年0.95%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 実質的にご負担いただく信託報酬率 (信託報酬に、ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加えた概算値) 年3.2975%程度(税込)+成功報酬* ※成功報酬: 毎ファンド営業日*の共通ポートフォリオにおける成功報酬控除前基準価額がその時点のハイ・ウォーターマーク*を超えた場合、その超過額の20% *1 ニューヨーク、ロンドンおよびルクセンブルグにおける銀行営業日(毎年12月24日を除く。)、且つ日本における第一種金融商品取引業者(証券会社など)の営業日、且つニューヨーク証券取引所の開場日。 *2 ハイ・ウォーターマークは過去の共通ポートフォリオの成功報酬控除後基準価額の最高額(設定当初は設定時の元本額)とします。
◆その他の費用・手数料	組入資産等の売買の際に発生する売買委託手数料、ファンドに関する租税、監査費用等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆お申込みは

野村証券

商号:野村証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
加入協会:日本証券業協会/社団法人日本証券投資顧問業協会/
一般社団法人金融先物取引業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:社団法人投資信託協会/社団法人日本証券投資顧問業協会

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的としてマン・インベストメント・リミテッドの情報に基づき野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、先物取引等を実質的な取引対象とします(また、外貨建資産に投資する場合、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。